

古代ギリシア世界をアテネとスパルタの両陣営に二分して戦われたペロポネソス戦争が紀元前四三一年に勃発したとき、これが大戦になることを予測してその歴史を執筆しようとしたのがツキディデスである。アテネの名門の出であるから、アテネの実情についての詳しい情報は得やすかったであろう。しかし、相手方のスパルタの情勢についてはどこまで知識を得ていたであろうか。

七年後の前四二四年、アテネの植民市でありトラキア地方の経済的な拠点でもあったアンフィポリスがスパルタ軍によって攻撃を受けたとき、トラキア派遣軍の將軍であった彼は軍船七隻を率いて、直ちに救援に向かう。しかしわずかの差で、アンフィポリスはすでに占領されていた。

この軍事的な失敗により、彼は国外追放の処分を受ける。その期間は、実に二〇年に及んだ。しかも将来は予測できなかったはずである。終生アテネに帰還することはなにかもされない。帰還しえたとしても、いつになることだろう。彼が不安にかられなかつたとは、考えがたい。

さてツキディデスは、「とりわけ、亡命者たることが幸いしてペロポネーソス（＝スパルタ）側の実情にも接して、経過の一端を一そう冷静に知る機会にめぐまれた」と『戦史』（岩波文庫）で記している。こうして「不運」はかえって、彼に敵方の地スパルタに足を踏み入れることを可能にし、両陣営を片寄りなく観察させた。戦史の叙述はこのことによつて一段と正確なものになったのである。

私たちもそれぞれの歩みにおいて、様々な困難に直面することであろう。その時、その経験をどのように受けとめることができるだろうか。亡命者としての境遇をプラスに変えることのできたツキディデスの姿が、ふと思ひ浮かぶのである。

Parlandoのあゆみ

はるらんど

その7

In my Library

こんな見つけた ①

当館所蔵の図書やCD、映像資料を紹介するシリーズです。授業やレッスンのために探すのとは少し違った視点からの記事になっています。257号までに37回掲載され、今も継続中。

- 1 秋だ、ドキュメントの森へ行ってみないか？
『現代史資料』みすず書房 (I72)
- 2 芸術音楽からはずれたレコードたち セイディスクレーベル (I74)
イギリスのマイナー・レーベル、セイディスクレーベルから出版されている所蔵CD
- 3 よみがえるカストラート (I76)
“ナチュラル・カストラート” パウロ・アベル・ド・ナスチメントのCD
- 4 カリヨン (I78)
マティアス・ファン・デン・ヘイン作曲《カリヨンのための前奏曲》CD
- 5 私は映画で有名になりました：ツイター (I80)
ツイターの録音資料
- 6 鮮やかな色が今、よみがえる (I82)
『世界美術大全集』第11巻 イタリア・ルネサンス 1
- 7 音楽関係逐次刊行物所在目録
1992年版 (I83)
音楽図書館協議会加盟機関で所蔵している雑誌の目録
- 8 The four seasons (I86)
ヴィヴァルディ作曲《四季》を収録したLD8点
- 9 季節はずれの第九物語 (I88)
大きな行事の際演奏された、ベートーヴェン作曲《第9交響曲》のライブ録音
- 10 探せないCDをどう探すか (I89)
CD検索の現状（当時）について。および、1993年度に購入した女性作曲家作品のCDリスト
- 11 『アメリカ婦人宣教師：来日の背景とその影響』
小檜山ルイ著 (I90)
- 12 語学辞典あれこれ (I92)
特定の目的のための語学辞典・用語集

* かつこ内は掲載された号数です。

* 現在の資料検索方法とは合致しない内容が一部含まれています。

* 現在は所蔵していない資料についての紹介が一部含まれています。記事を参照して資料請求する際は、再度OPACで確認してください。

* 記事の内容を読みたい場合は、請求記号P1154と希望の号数を書いて、図書館カウンターで請求してください。